

ミスチル

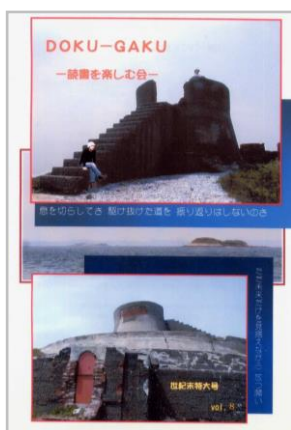
ばがぼんど



2001年秋から始めたミスチル放浪の旅も、二年目の秋を越え新しい年となり、無事14回目を迎えることとなりました。世にミスチルのたねはつきまじ・・・この先どこまで行くのやら。

さて今回は vol.8 世紀末特大号の表紙でも紹介した Mr.Children 15th シングル「終わりになき旅」のビデオクリップ撮影地「第二海堡」を訪ねてみたいと思います。

<第二海堡> と言っても、釣り好きか、はたまた廃墟好きか、ミスチル好きか、くらいでないと「それ何？」の世界かもしれません。



vol. 8 世紀末特大号

千葉県富津岬先端の西約4キロのところにある人工島であり、明治から大正にかけてつくられた三つの海堡のひとつで、東京湾の軍事拠点として大正三年に完成。富津岬沖から、横須賀沖の猿島要塞を含め、第一海堡、第二海堡、第三海堡と、三つの人工要塞島が円弧状に築かれ、東京湾の防衛ライン（帝都防衛ライン）を構築していました。「海堡」というのは「海上に建造した砲台」という意味だそうです。



横浜方面からはシーサイドライン野島公園駅下車。日に二便、釣船が出ています。現地には売店はおろかトイレもなく、したがって恐ろしくてビールなどはいただけません。ただただ夢中になって東西250メートル、南北150メートルの瓦礫の山を駆けずり回り、汗を絞りきるだけです。

関東大震災による被害で、レンガは崩れ落ち、その傷跡を海風にさらし続け、放置されたまま廃墟となり・・・またそれゆえにそこには異世界的空間が醸し出されています。その風景に惹かれた映像作家たちがいくつかの作品をこの地を素材に生み出し、そのひとつがミスチルのビデオクリップというわけです。

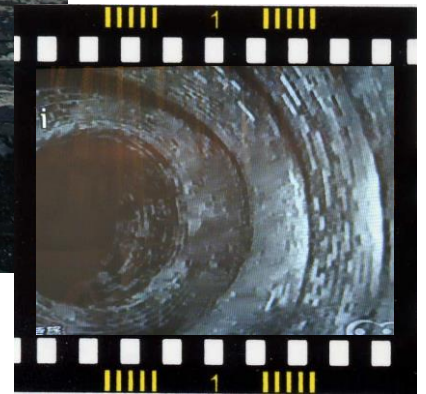


1998・10・21「終わりになき旅」

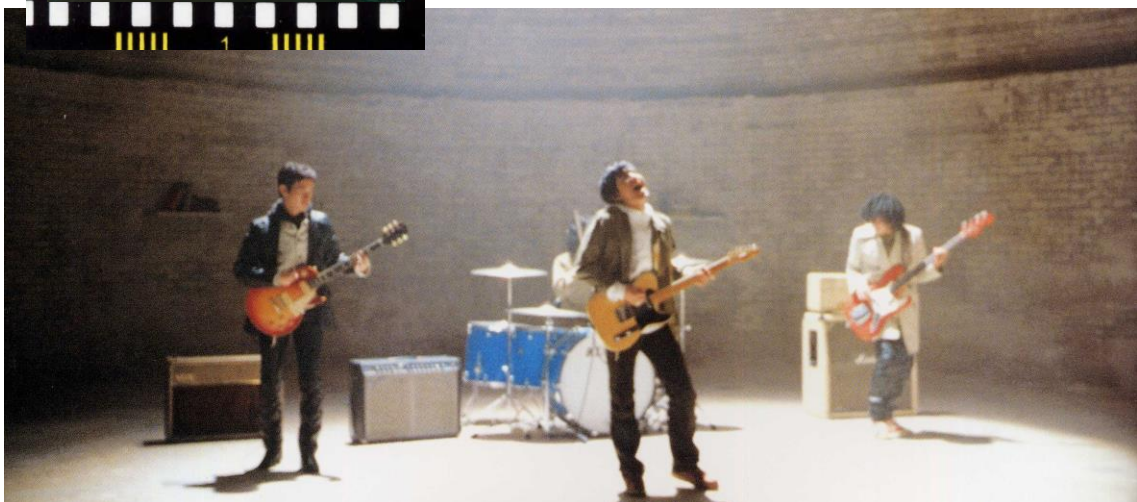
クリップの主演は異国の少年。
これで撮影地は海外と信じる人が
大半。島の中央部にあるトーチカ
（砲壘）を昇るところを、東側よ
り見上げる形で撮影しています。



そのトーチカの中を覗くとラセン状のトンネルがあり、そこにミスチルがいるという仕掛け。
実際には、そこにはラセンはなくミスチルもいなかったけど・・・



閉ざされたドアの向こうに 新しい何かが待っていて
きときとって僕を動かしている



廃墟を彷徨う少年は瓦礫の中から古い文字
や絵の描かれた一枚の紙を拾い上げ・・・

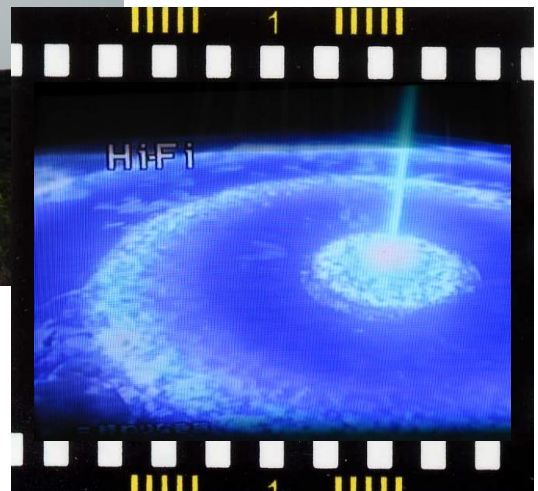


少年がその古びた紙をトーチカにかざすと、
そこから大量の光が一直線に空高く吹き上って



トーチカに立って

その凄まじい光は地球全体を優しく包んでいきます。
それはまるでミステルの歌の象徴であるかのように。



さて、TICAちゃん曰くのDG幽霊
会員となったグリコちゃんと一緒に第二
海堡を訪れたのは 2000 年のGW。あれ
からまたレンガは崩れ、危険防止の名目
で地下通路は埋め立てられてしまっ
たでしょう。入り口を隠すブルーシートを
押しのけて地下通路の名残りに侵入した
のが下の写真。中は真っ暗闇でグリコ
ちゃんどこお〜?と叫びながら、手
当たり次第撮った写真の中の一
枚。今のデジカメは暗いところ
にすごく強い。あまりにきれ
いに撮れすぎて臨場感の全
くない写真になってしまっ
たのは淋しいね。



←廃墟マニア必携・懐中電灯を翳しているグリコちゃん。
トマソン隊「隧道編」にも登場してますよ〜。



手前に見える島影が第一海堡。左後方、遠くかすんで
見えるのが第二海堡。 富津岬より撮影。↓



不思議な世界の海岸縁りに寝転んで、ウォークマンで聴いた「終わりなき旅」。

空と海と風の中で聴くのもまた格別。